

道祖神は旅人や街を厄災から守ってくれる神道の守り神で、通常道端や村境、山道などにあります。一般的には人の形に彫った小さな石ですが、野沢温泉には道祖神の独自の解釈があります。この道祖神は、同じ大きさの一对の円筒形の木彫りの人形で、手で彩色されており、夫婦に見えます。そして子宝、幸せな結婚、子供の健康などをもたらしてくれる神様として祀られているのです。伝説によると、この神様はあまり魅力的でない男だったのですが、結婚したところ男の子に恵まれたといわれています。

野沢温泉を歩いているとあちこちで様々な色とデザインの可愛い木製の道祖神が目に入ります。地元の人には小さい道祖神を自宅の神棚にお祀りしていますが、玄関の外に飾っているお宅もあります。年に一度、1月15日に行われる道祖神火祭りの日の朝に、人々は道祖神人形を祭りの場に持っていった大きなかき火の籠の中に納め、新しい一对を持ち帰ります。こうすることによって二人の神様は地元の人たちの縁結びに力を貸してくれるのです。霊的な助けを求めている方は、街中に点在するたくさんの土産店で道祖神を手に入れましょう。